

超音波検査(エコー検査)を知っていますか？

超音波検査は、高い周波数の音(超音波)を利用してリアルタイムで体内を画像化する検査です。検査する部位にエコーゼリーを塗り、プローブという機械を当てます。体の向きを変えたり息を止めたりする必要がありますが、体への負担が少なく痛みがないため、安心して受けることができます。



検査してわかること

心臓

- 大きさや形状(心拡大の程度)
- 壁の厚さや動き(心筋肥大の程度)
- 弁の形状や機能(弁膜症)
- 収縮力(心機能)

腹部

- 肝臓、胆のう、膵臓、腎臓などの大きさや形状、しこりの有無
- 大動脈瘤の有無

頸動脈

- 動脈硬化の程度やプラーク(動脈壁にたまった脂質など)の有無
- 血管の狭窄※の程度
※狭窄…狭くなること

甲状腺

- 甲状腺の大きさや形状
- しこりの有無と性状

高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病を、健康診断などで指摘された人は定期的な検査をおすすめします。



肝臓に脂肪が沈着すると、腎臓と比べて白く見えます。



地方独立行政法人
川崎町立病院
臨床検査技師
よこやま ゆきひろ
横山 祥恵

